

国際交流への第一歩 ～高知県立梶原高校・高知追手前高校吾北分校～（リトアニア）

平成22年3月
在リトアニア大使館

平成21年9月、高知県のNPO団体である「おかいこさん学校」代表者の山本眞壽氏が中心となり、高知県内の高校生及びその関係者がリトアニアを訪問しました。

リトアニアは、多くのユダヤ人を救った杉原千畝氏が活躍したところでもあり、今回当地を訪問した5人の高校生は、杉原千畝氏が勤務したカウナス市において、同市の学生と交流を深めました。

1. リトアニアの学生との相互交流

カウナスを訪問した高校生は、日本に興味を持つ家庭で4日間のホームステイを経験した後、カウナス市の杉原記念館（旧日本領事館）の2階にある、ビタウタス・マグヌス大学政治・経済学部日本学センター（現アジア研究センター）で、同大学の学生等と相互交流会を行いました。



日本紹介の様子

日本に関する一般的な説明から、出身地方の地理や気候、郷土文化、彼らが通う学校について、ビデオ、パワーポイントなどを使用し紹介しました。発表は、主に英語で行われましたが、言葉でうまく説明できない部分は、身振り手振りを交え、参加したリトアニアの学生からは笑い声も聞こえ大変楽しい発表でした。

2. 杉原記念館の視察

杉原記念館では、杉原千畝氏に関するショートフィルムを視聴した後、シモナス・ドビダビチユス館長、アウレリユス・ジーカス日本学センター所長（当時）から当時の様子や杉原氏に関する説明を受けました。



ドビダビチユス館長（奥）
ジーカス日本センター所長（手前）



熱心に説明を聞く生徒達

3. 記念植樹

今回のカウナス訪問を記念して、相互交流会に参加した学生とともにかつて杉原氏が植えたと言われるリンゴの木のそばに石楠花を植樹しました。



4. 懇親会

ビタウタス・マグヌス大学政治・経済学部日本学センター（当時）の小教室において、参加者全員で懇親会を行いました。日本紹介等の発表の時は双方とも少々緊張気味でしたが、時間が経過するに従いうち解けて、懇親会では、お互いの趣味、共通点などを話題に大変盛り上がっていました。

引率された日本人の先生は、リトアニアの学生達に対して、小さな交流ですが、これからもこんな交流を続けていきたいこと、また、リトアニアからの学生（本邦に留学している学生等も含め）の受け入れについても積極的に取り組みたいと伝えていました。



5. リトアニアの中の日本

近年リトアニアでは日本文化に対する興味が年々高まっています。今回の高校生の訪問・交流会は、NPO団体「おかいこさん学校」の皆さんを中心に日本の文化紹介の一部として実施されたものです。日本文化紹介では、着物展、染め物ワークショップ、高等学校訪問等が行われました。